



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2023年6月3日発行 第9号

ワシントン日本語学校

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



「よりよい授業」づくりをめざして

～校内研修の取組～

校長 三原 洋一

水無月を迎え、日本では梅雨の時期に入り、あちこちで田植えが始まる季節となりました。新学期も2カ月が経ち、どの学級でも落ち着いた学びを進めているところです。

さて、我々教職員は、児童生徒の学力向上のために日々の授業をよりよいものにしたいという願いをもっています。子ども一人一人がそれぞれの個性や能力を伸ばして、心豊かにたくましく生きるための基礎を培うことは学校教育の重要な役割です。そのために教師は、絶えず研究と修養に努め、実践的な指導力を発揮できるようにすることが求められます。本校の教員も、週一回の授業日を充実したものにして一人一人の学びを深めたいと考え、毎週の教材研究を欠かしません。

本校では、2020年から始まった国語力向上ベシックプランに基づいて『共働学習』の実践のための校内研修を実施しています。研修主任が中心となり、幼稚部・小学部では学年を越えて教科ごと（国語・算数・社会）に縦のつながりを意識しながら、中学部・高等部でも教科ごと（国語小論文・算数・社会）に重点単元を一つ決めて、研究授業を通した研修を推進しています。

研修の目的は、

○家庭との共働に加え、児童・生徒間の共働を取り入れた授業実践を行うことを通して、補習授業校に

おける効果的な学習法を探索する。

○主体的に研究・研修にかかわり共に学ぶことを通して指導力の向上を図る。

ことです。

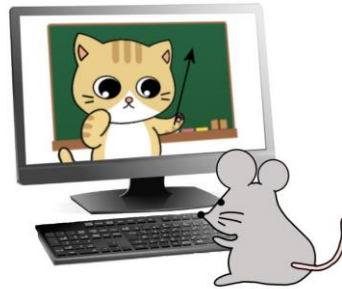
4月に実施した第一回目の校内研修会では、どの部会でも活発な意見交流がなされ、本年度の研修の方向性を定めることができました。

全体研修では、特に『共働学習』における共同的な学びとはどのようなものを再確認し、本年度の研修をスタートすることができました。



オンライン

アメリカで日本の家庭教師



家庭学習でお困りのことはありませんか？

- ◆ 日本の学習が補習校だけでは足りない
- ◆ 帰国後の勉強についていけるか心配
- ◆ 現地校の宿題が分からない

オンラインねこチューターではお子様ひとりひとりに合わせて、楽しく無理なく学べるよう指導させていただきます。

30分の授業を無料でお試しいただけます。(～6/30まで)

対象

小学1年生～高校3年生

- 国語・算数・数学・英語・化学・生物
- 日本の高校・大学受験 アメリカの大学受験

赴任された方々からのいちばんご要望の高い内容に合わせて以下もご用意しております。

- ✓ お友達づくりのための日常英会話
- ✓ 運動不足の方を対象としたズンバ



オンラインねこチューター

onlinenekotutor@gmail.com

onlinenekotutor01.amebaownd.com

授業づくりに係る共通理解として、具体的には次のことを確認することができました。

「共働的な学び」とは

・子どもが同じ目線に立って互いに認め合うことである。一人では気づくことのできなかったことの新たな発見や、視野を広げていける楽しさを味わう中で育ちあうことである。

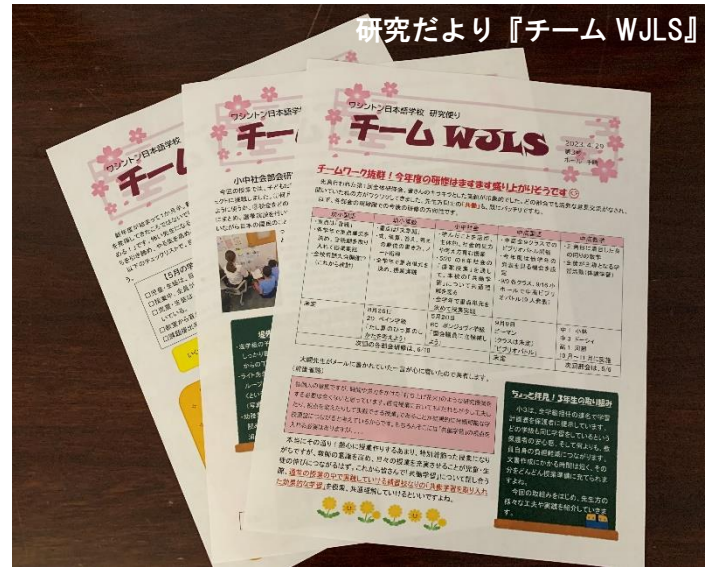
「共働的な学び」のある授業とは

・すべての子どもが応答と対話を繰り返す中で関わり合い、共働的に学びあうことで、すべての子どもの学びと育ちを保障しようとする授業である。

「共働的な学び」のめざすものとは

・共働の場（学び合いの場）を大切に、「一人ではなく、仲間と一緒に取り組めたからよい学習ができた。」と、子どもたちが実感できることをめざす。

この校内研究の取組を通して、子どもの望ましい発達を促すとともに、教師集団の実践意欲を高め、教師一人一人が自己研修・自己変革を図り、指導力を向上させていくように努めてまいります。



知ってますか？

ワシントン日本語学校7つのルール

- 1 日本語を話す。
- 2 先生の話をよく聞く。
- 3 ろう下は、しずかに歩く。
- 4 かいだんは、入口B側（カフェテリア側）が上り、入口C側が下り。
- 5 学校のものにさわらない。
- 6 携帯、あめ・ガム・チョコレートなどを持って来ない。
- 7 教室を、整理整頓とする。



幼稚園仲良しピクニック

5月27日は、気持ちの良い青空の下、幼稚園の仲良しピクニックを、メサフィールドで行いました。保護者の皆様にもご参加いただき、親子ゲームで体を動かしたあと、みんなで昼食を楽しみました。教室を飛び出での体験的な学習をどの子も満喫したようです。

